



4号 令和6年4月11日

<学校教育目標>

自ら伸びる ともに伸びる

# 校長だより

呉市立市阿賀小学校  
安宗 誠



## 「4秒礼」への取組に思う・・・

4月の生活目標は、「4秒礼を確実にしよう」ですね。

「礼」＝「お辞儀（おじぎ）」は、飛鳥・奈良時代のころ、中国から伝わってきたらしく、相手より低い姿勢・無防備な姿勢をとることで、敵対しない気持ち・相手に心を開く気持ちを表そうとしたことがはじまりのようです。

生活朝会で、正しい「4秒礼」の作法を改めて確認し合いました。正しい型を身に付けることは大切です。しかし、もっと大切なのは、その所作に魂がこもっているのかどうかということです。相手に心を開こうとする魂が態度ににじみ出てはじめて正しい作法が身に付いたと言えるのでしょうかね。

何事においてもそうでしょう。「おはようございます。いつもありがとうございます。」の様子。「いただきます」「ごちそうさま」の様子。そんな1つ1つの様子を見れば、その人がどれほどの感謝の気持ちをもって日々生きているのかが分かりますね。

これは子どもだけに求める話ではありませんね。子どもを大切に思う大人なら大人から進んで子どもにあいさつもするでしょうし、子どもを「上から目線」で見ることのない教師は、腕組みをしたり、腰に手を当てたりして子どもに相対することはないでしょう。

型を習った後から心が伴うということももちろんありますが、結局は、心の内が態度や行動ににじみ出るといっていいでしょう。

### 阿賀中学校入学式で見た新1年生の作法(4月9日)



魂が態度ににじみ出ています！

